



株式会社エイチーム

決算説明資料 2018年7月期 Q3

2018年6月8日 **(一部訂正)**

※ 2018年6月8日発表の『決算説明資料 2018年7月期 Q3』3ページの「FY2018 Q3 会計期間決算サマリー」ECに関する記載に誤りがございましたので、訂正いたします

Index

1. FY2018 Q3 連結決算概要
 2. FY2018 Q3 セグメント別事業詳説
 3. FY2018 Q4 進捗
 4. FY2018 業績・配当予想
 5. 中長期的な展望
-
- APPENDIX A : 会社概要
 - APPENDIX B : 主な経営指標

1. FY2018 Q3 連結決算概要

2. FY2018 Q3 セグメント別事業詳説
3. FY2018 Q4 進捗
4. FY2018 業績・配当予想
5. 中長期的な展望

FY2018 Q3 会計期間決算サマリー (2018.02-2018.04)

全社

Y/Y、Q/Qともに増収増益、四半期売上・利益とも過去最高

- 売上高 : 10,269百万円 (Y/Y 103.7%、Q/Q 112.1%)
- 営業利益 : 1,752百万円 (Y/Y 100.2%、Q/Q 160.3%)
- 当期純利益 : 1,217百万円 (Y/Y 104.8%、Q/Q 161.4%)

※親会社株主に帰属する当期純利益 (本頁以降同様)

エンターテインメント

Y/Y減収減益、Q/Q減収増益

- セグメント売上 : 3,876百万円 (Y/Y 74.5%、Q/Q 89.7%)
- セグメント利益 : 1,199百万円 (Y/Y 83.3%、Q/Q 135.5%)

既存タイトルの減収によりQ/Q、Y/Yともに減収、広告抑制により利益がQ/Qで増加

売上高構成比

37.8%

ライフスタイルサポート

Y/Y、Q/Qともに増収増益、売上・利益とも過去最高

- セグメント売上 : 5,580百万円 (Y/Y 139.8%、Q/Q 129.4%)
- セグメント利益 : 1,077百万円 (Y/Y 150.5%、Q/Q 157.0%)

各サブセグメント事業が総じて好調に推移したことに加え、繁忙期需要も奏功し、好調

売上高構成比

54.3%

EC

Y/Y、Q/Qともに増収、過去最高の四半期売上を達成

- セグメント売上 : 812百万円 (Y/Y 113.6%、Q/Q 152.7%)
- セグメント利益 : -77百万円 (Y/Y -、Q/Q -)

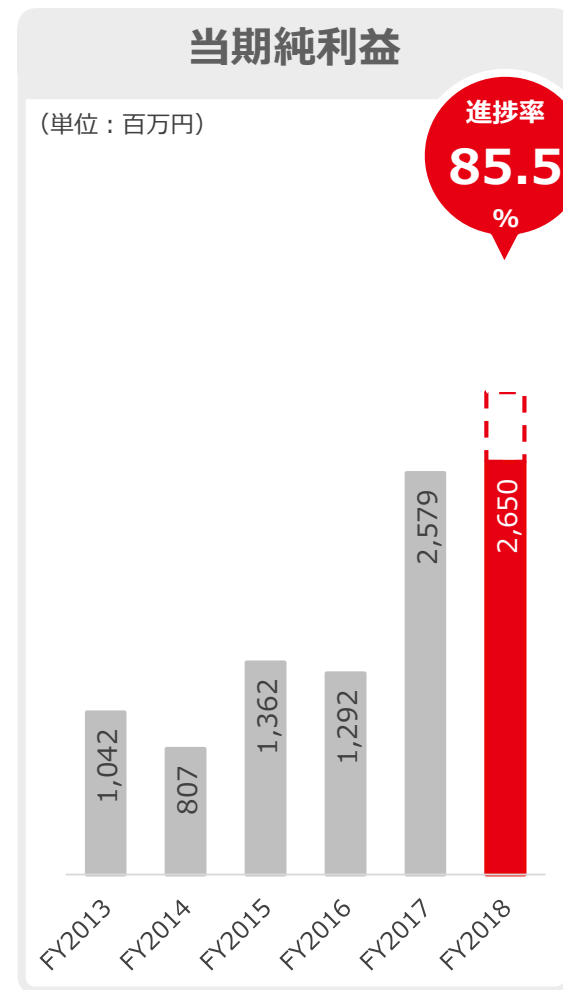
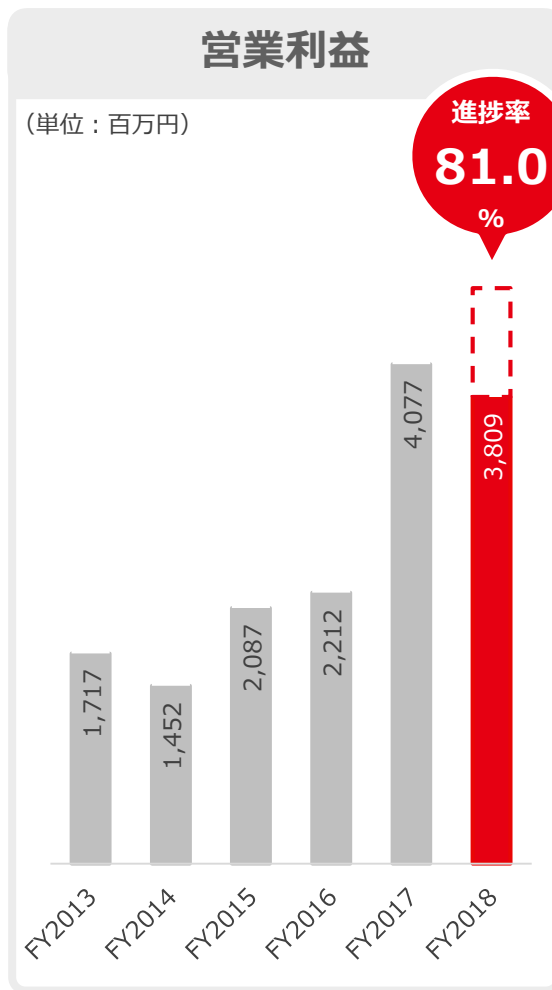
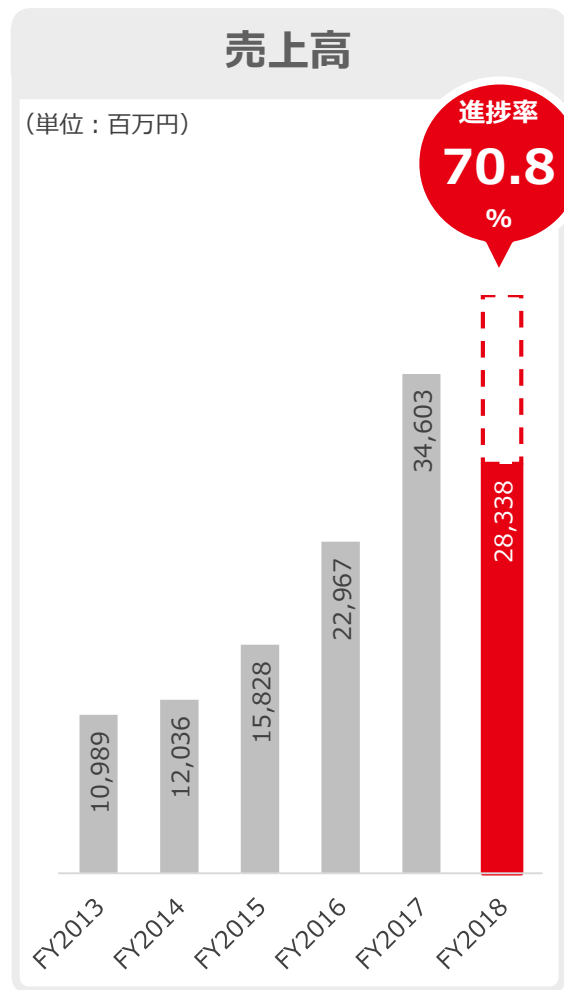
繁忙期需要が功を奏し、好調に推移

売上高構成比

7.9%

連結売上高・利益の推移及びFY2018業績予想に対する進捗率

(参考) 通期予想：売上高 400億円、営業利益 47億円、当期純利益 31億円



FY2018 Q3累計期間及び会計期間業績概要

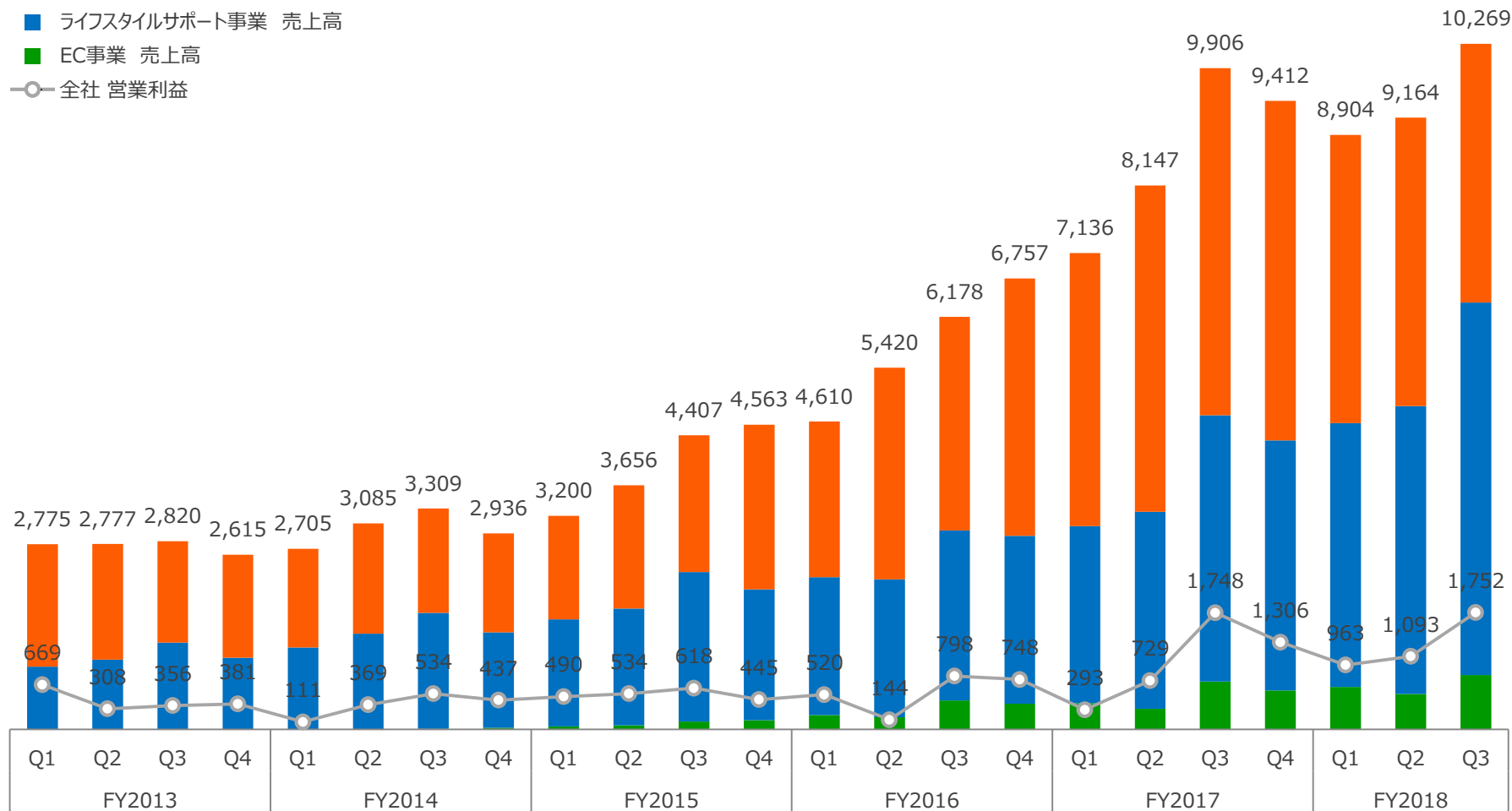
(単位：百万円)

FY2018 Q3 累計期間 (9ヵ月) (2017.08 – 2018.04)					FY2018 Q3 会計期間 (3ヵ月) (2018.02 – 2018.04)					
	FY2018		FY2017	Y/Y	FY2018		FY2017	Y/Y	FY2018	Q/Q
	Q3累計	%	Q3累計		Q3	%	Q3		Q2	
売上高	28,338	100.0%	25,190	112.5%	10,269	100.0%	9,906	103.7%	9,164	112.1%
営業利益	3,809	13.4%	2,770	137.5%	1,752	17.1%	1,748	100.2%	1,093	160.3%
経常利益	3,852	13.6%	2,809	137.1%	1,775	17.3%	1,738	102.1%	1,096	162.0%
当期純利益	2,650	9.4%	1,838	144.2%	1,217	11.9%	1,162	104.8%	754	161.4%

連結四半期売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)

- エンターテインメント事業 売上高
- ライフスタイルサポート事業 売上高
- EC事業 売上高
- 全社 営業利益



※ ライフスタイルサポート事業の季節要因（引越し、自転車EC事業の繁忙期2-4月、自動車関連事業の繁忙期12-翌2月）により、例年Q3（2-4月）がピーク

主な経営指標の四半期推移

(単位：百万円)

	FY2015		FY2016				FY2017				FY2018		
	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	4,407	4,563	4,610	5,420	6,178	6,757	7,136	8,147	9,906	9,412	8,904	9,164	10,269
営業利益	618	445	520	144	798	748	293	729	1,748	1,306	963	1,093	1,752
広告宣伝費	1,903	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623	3,410	3,600	3,866	3,730
人件費 採用費	695	736	745	805	814	884	872	935	931	1,066	1,025	1,089	1,195
キャリア手数料 支払手数料	671	869	841	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051	2,108	1,588	1,572	1,561
外注費 サーバー費	197	235	257	267	275	235	254	297	315	331	532	518	620
オフィス賃料	105	111	138	235	177	177	178	218	238	243	249	251	288
期末人員数 (人)	533	530	548	559	574	583	605	627	710	718	723	788	898

※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む

※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

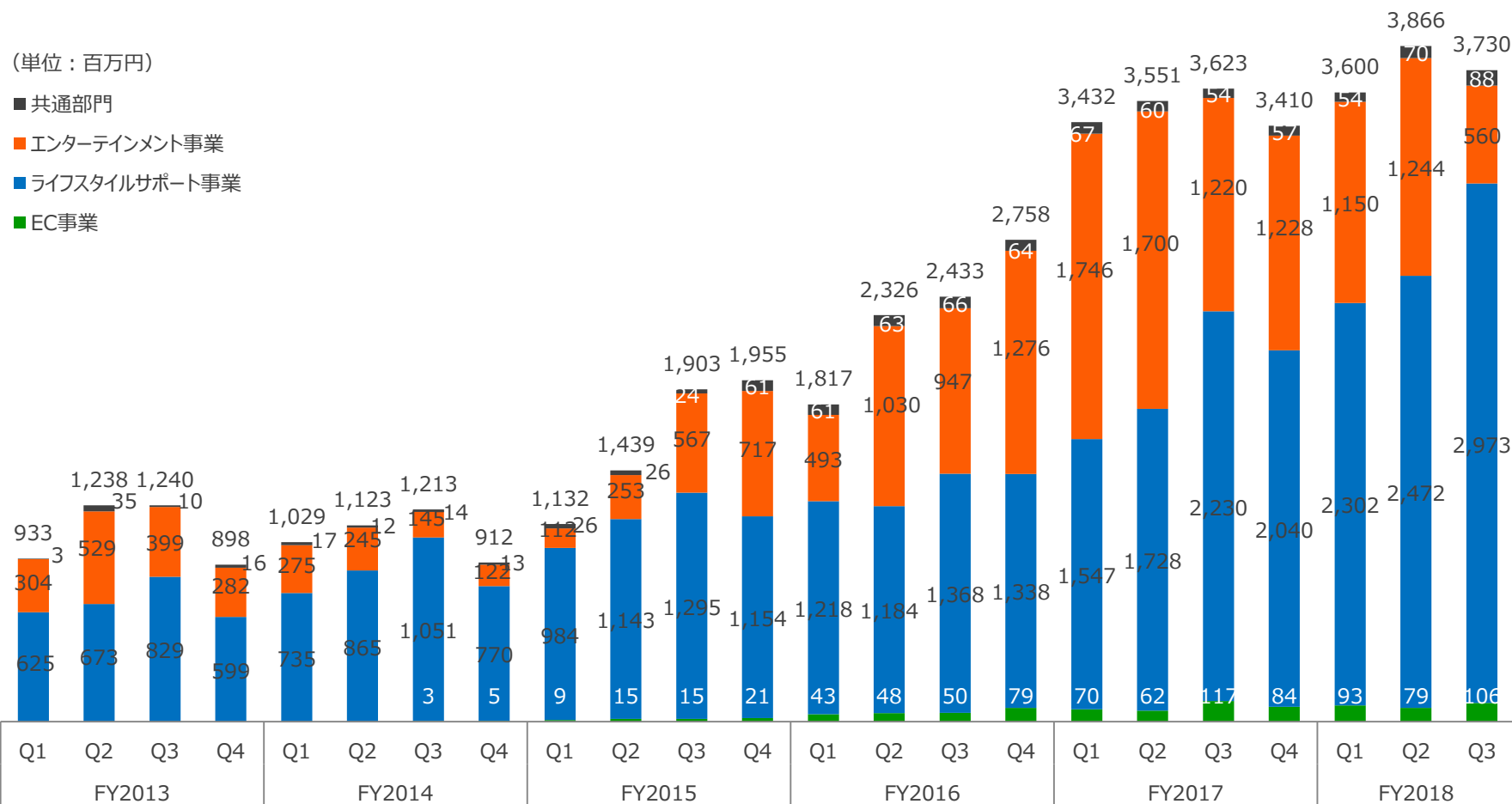
※ 「支払手数料」、「外注費」の一部計上変更について：

ライフスタイルサポートの引越し関連事業で展開している引越し周辺サービス「エアコン取付け・取外し工事」等の外部委託費用について、FY2017までは「支払手数料」として計上したものの、取引に対する当社及び委託先の役割の変化を鑑み、「外注委託」に該当すると判断したため、FY2018より「外注費」として計上

セグメント別広告宣伝費の四半期推移

エンタメは継続して既存タイトルの広告費を抑制したため、減少

ライフは一部サービスにおいて、繁忙期に向けプロモーションを強化したため、増加



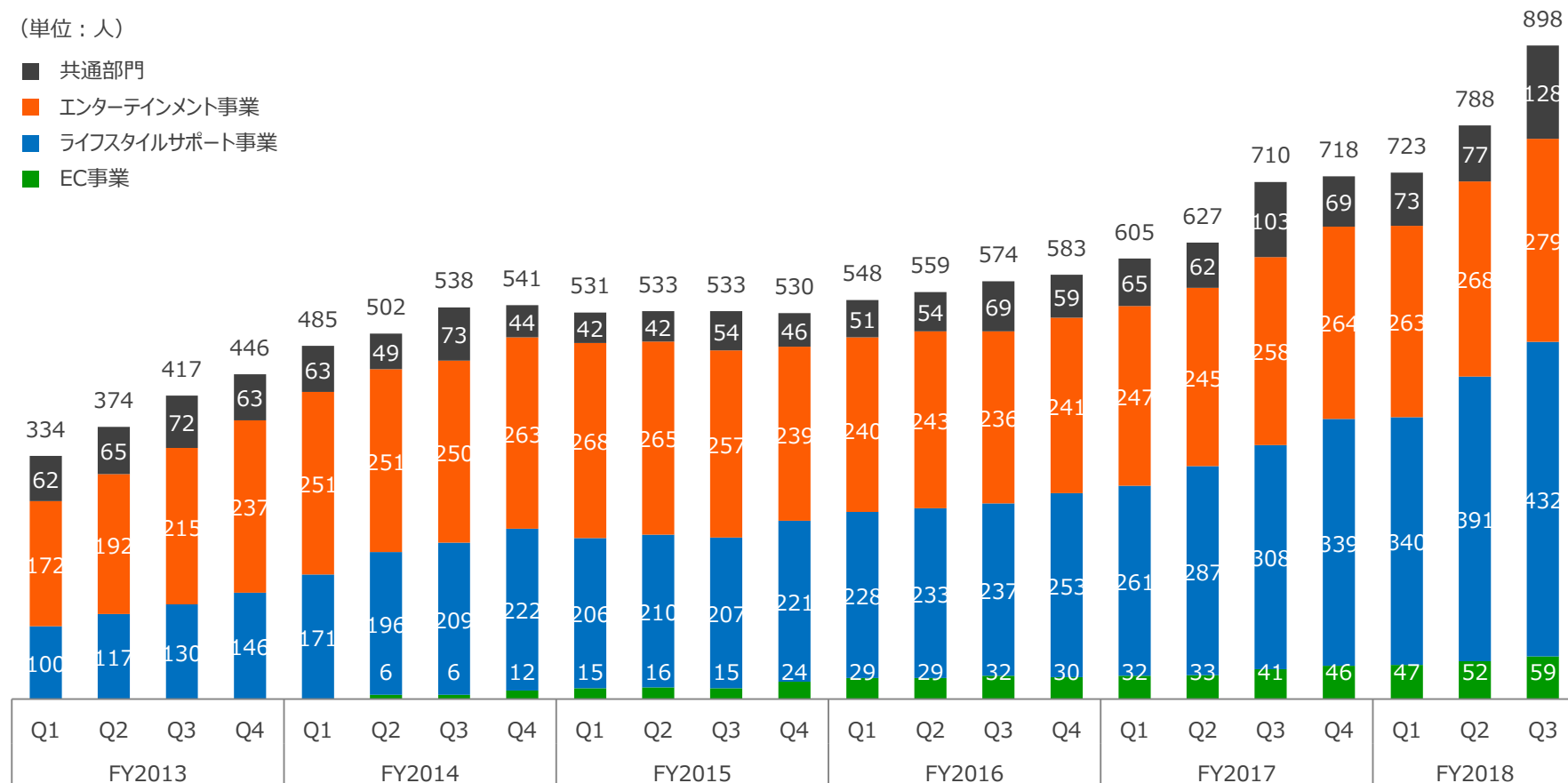
セグメント別人員数の四半期推移

4月に新卒46名が入社

- 中途採用も含め、エンタメ・ライフを中心に引き続き人材強化を行っていく

(単位：人)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業



※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む

※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

※ 新卒社員はQ3末では共通部門で計上

貸借対照表

(単位：百万円)

	FY2018 Q3	FY2018 Q2
流動資産	11,144	9,854
現預金	4,722	4,441
売掛金	4,620	4,028
固定資産	4,708	4,609
有形固定資産	1,619	1,613
無形固定資産	1,940	1,892
資産合計	15,853	14,464

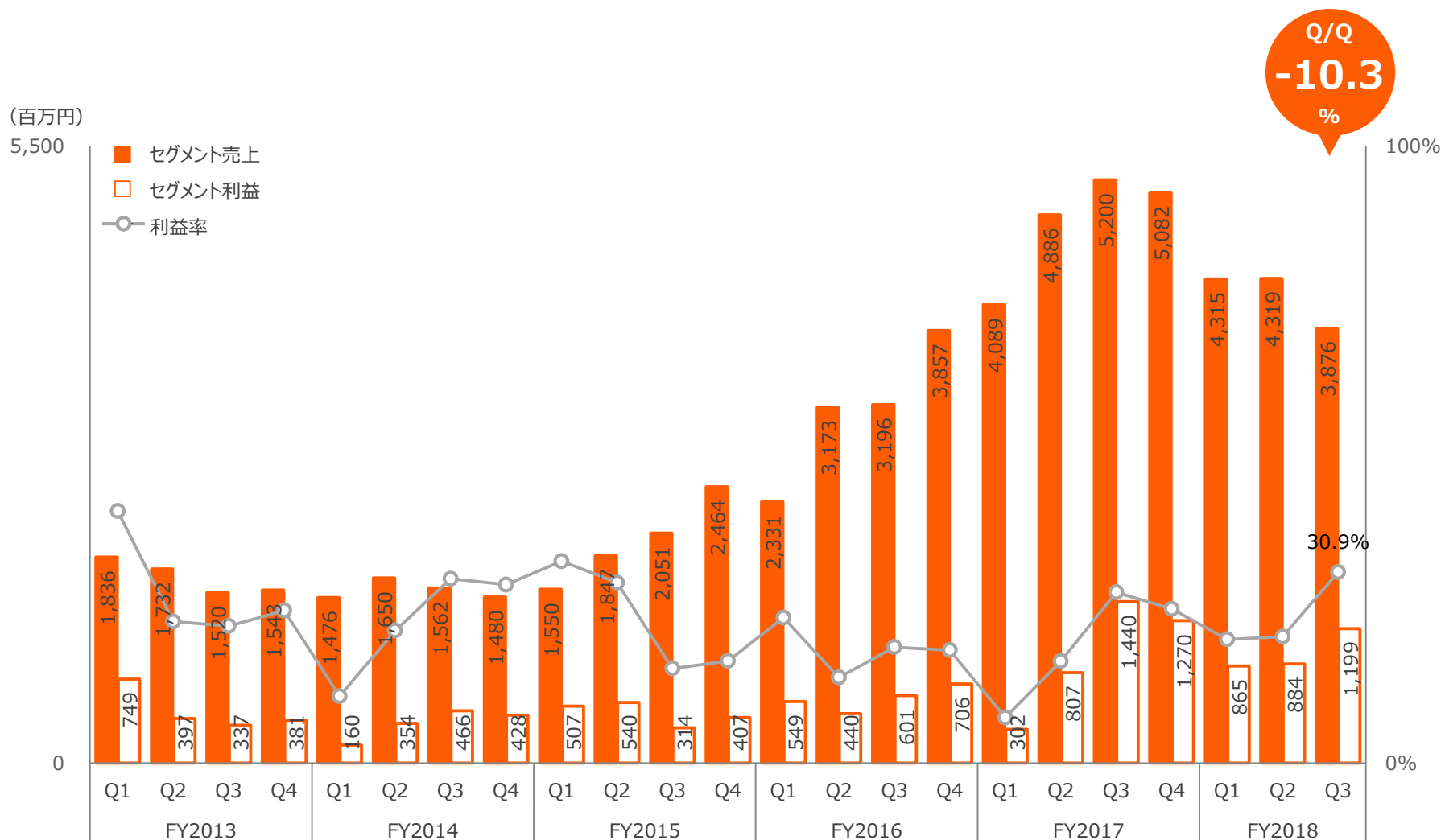
	FY2018 Q3	FY2018 Q2
流動負債	4,310	4,207
固定負債	544	482
負債合計	4,855	4,690
有利子負債	255	390
株主資本	10,911	9,685
純資産合計	10,997	9,774
負債純資産合計	15,853	14,464

2. FY2018 Q3 セグメント別事業詳説

- 3. FY2018 Q4 進捗
- 4. FY2018 業績・配当予想
- 5. 中長期的な展望

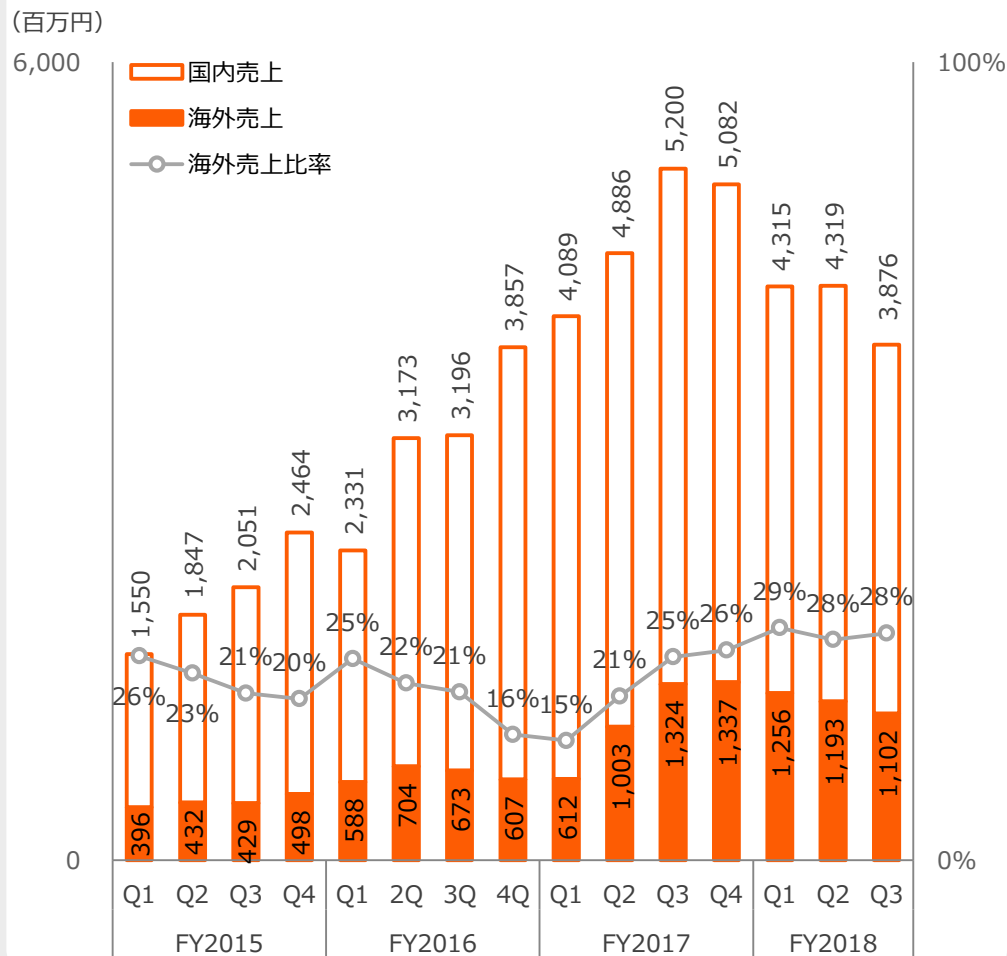
エンターテインメント事業 四半期売上高・営業利益の推移

既存タイトルの減収傾向に加え、新規タイトルのリリース遅延により減収



エンターテインメント事業 海外売上の四半期推移

海外売上の推移

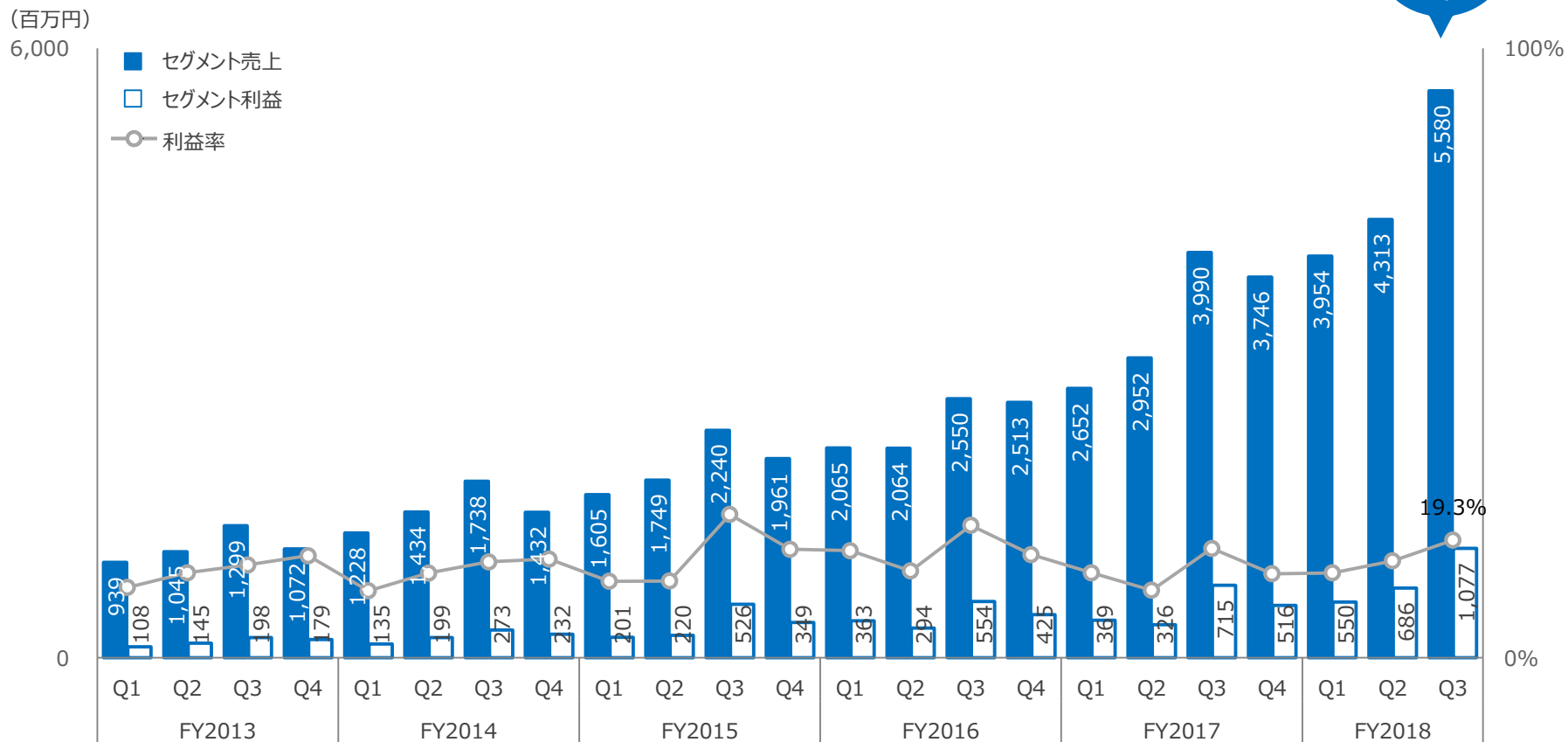


配信国・地域	日本	北米	ヨーロッパ圏	台湾/香港	韓国	東南アジア	中国本土
BASSA ※Q4配信	●						
ヴァルコネ	●	●	●	●	●	●	●
ユニゾン	●	●	●	●	●	●	●
ダビバク	●			●		●	
さんすま	●			●			
レギオン	●	英語版					
サマナー	●	英語版					

ライフスタイルサポート事業 四半期売上高・営業利益の推移

総じて好調に推移し、Y/Yで大幅増収増益、セグメント売上・利益とも過去最高

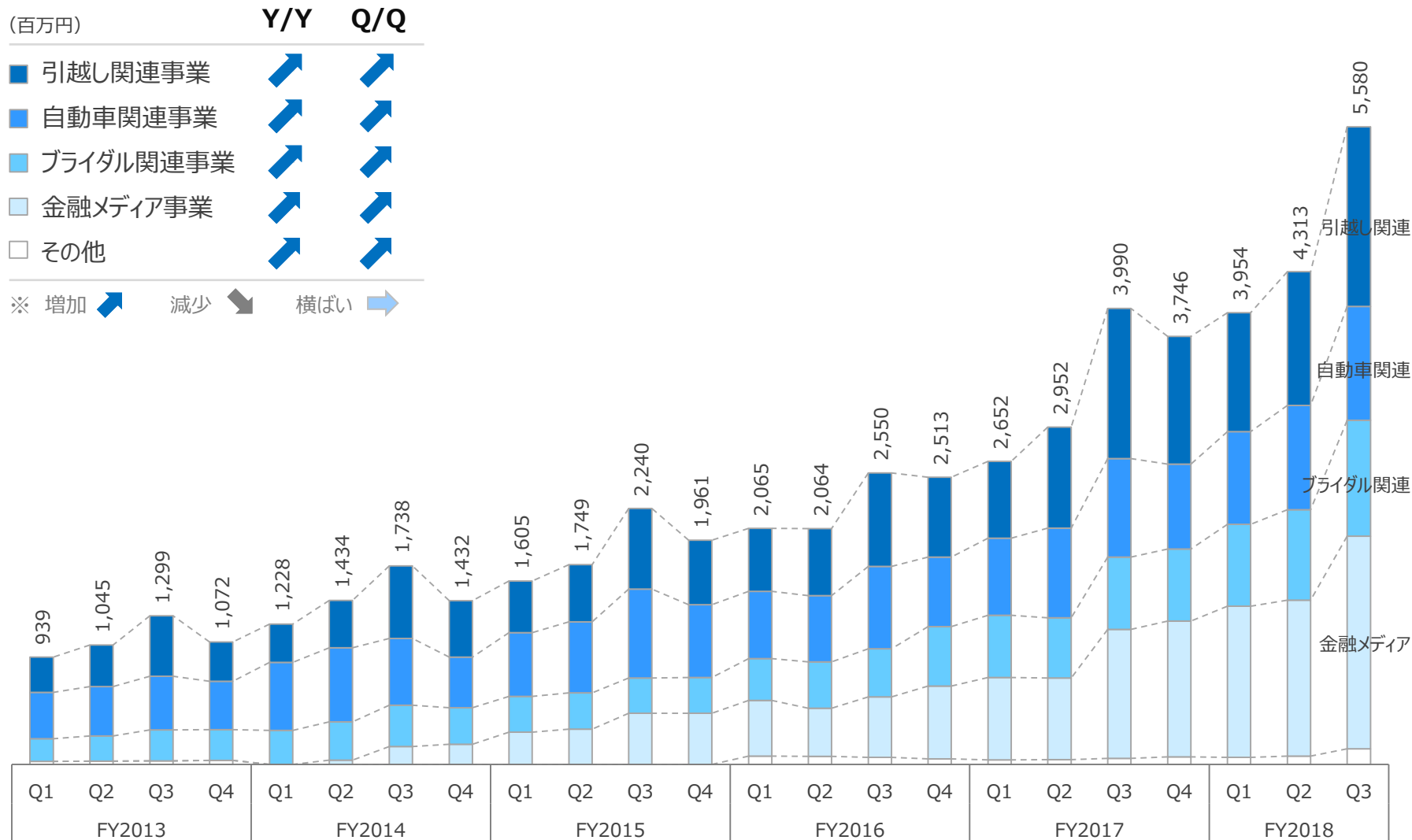
Y/Y
+39.8
%



※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ FY2018 Q3より、Increments株式会社の運用事業 (Qiita, Qiita:Team) をサブセグメント「その他」に含めております

ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別四半期詳説



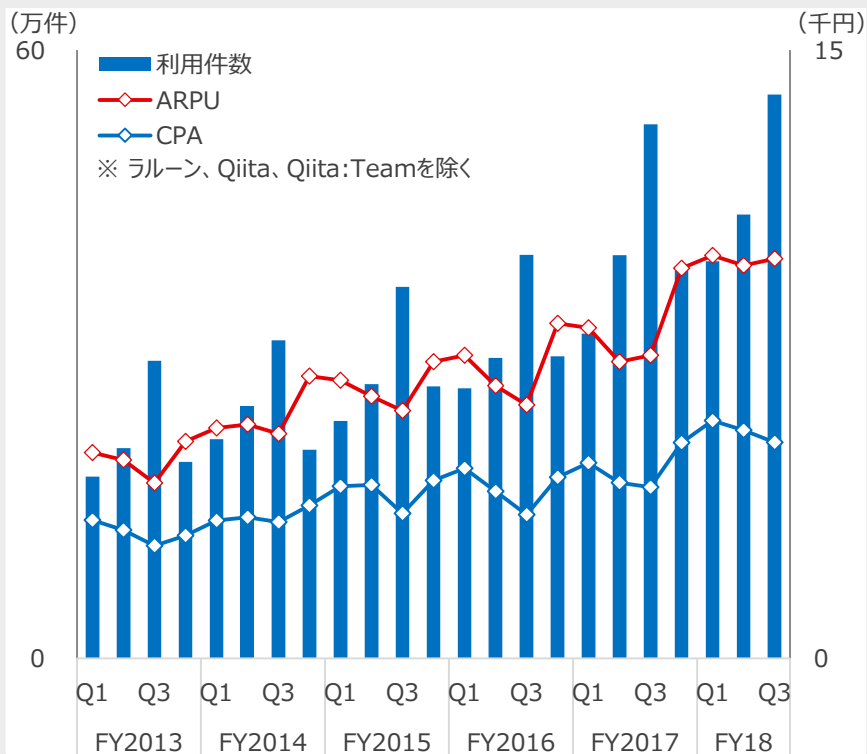
※ FY2018 Q3より、Increments株式会社社の運用事業（Qiita, Qiita:Team）をサブセグメント「その他」に含めております

ライフスタイルサポート事業 主なKPIの四半期推移

利用件数・ARPU・CPA

利用件数がY/Yで増加

ARPU、CPAは概ね例年同様のトレンドで推移

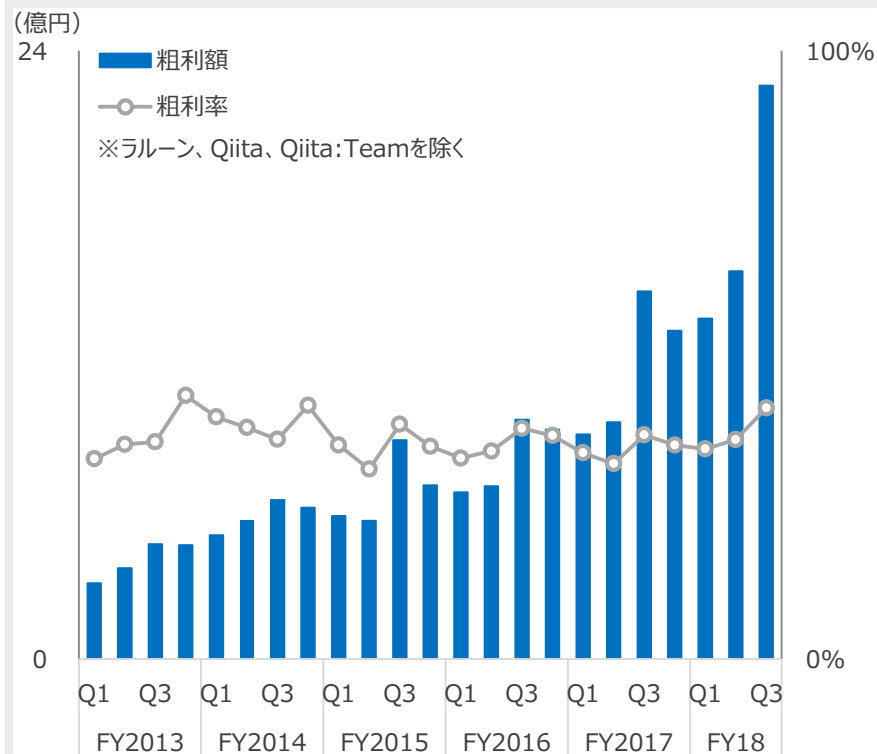


- 【①利用件数】= 主要4事業の利用件数 (各サービスの利用件数のうち、売上が発生した件数) の合計 (※同一利用者が複数サービスを利用した場合、獲得コスト発生ベース)
- 【②ARPU: 利用者1人/組あたりの売上高】= セグメント売上 ÷ 【①利用件数】
- 【③CPA: 顧客獲得1人あたりの広告単価】= 広告宣伝費 ÷ 【①利用件数】

粗利額・粗利率

粗利額がY/Yで大幅に増加

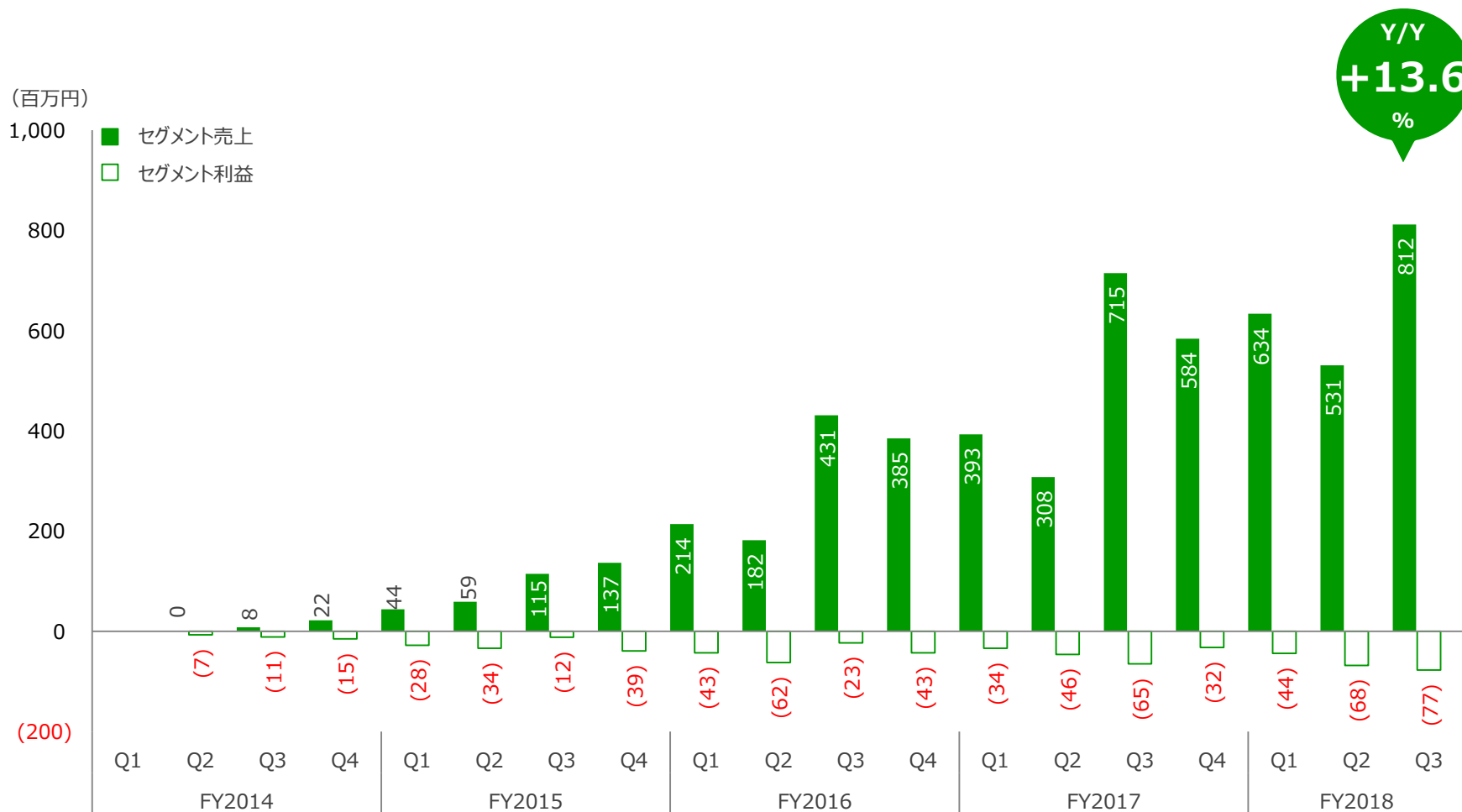
粗利率は40%前後の水準で安定推移



- 【④粗利額】= セグメント売上 - (広告宣伝費 + 仕入原価)
- 【⑤粗利率】= 【④粗利額】 ÷ セグメント売上
- ※ 仕入原価等はGross計上分 (エアコン仕入原価、エアコン工事委託費、ハナユメ定額ウェディング原価、マシリング仕入原価、ハナユメフォト仕入原価) が対象

EC事業 四半期売上高・営業利益の推移

引き続きY/Yで増収、過去最高の四半期売上を達成



※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ EC事業の自転車通販サイト「cyma -サイマ-」は2013年12月よりサービスを開始しております。繁忙期：3-4月 (Q3)

3. FY2018 Q4 進捗

- 4. FY2018 業績・配当予想
- 5. 中長期的な展望

セグメント別トピックス

エンターテインメント

- ▶ **三国BASSA!! NEW**
- ▶ 5/21に国内App Store, Google Playで配信、5/25に課金開始
- ▶ 簡単操作爽快バトル！ユーザー同士2対2のリアルタイム対戦も用意
- ▶ 5/31よりTVCMを放映開始
- ▶ アジア圏をはじめ、海外展開を順次推進予定



新規タイトルについて

New Project

- ▶ FY2019リリースに向け、鋭意開発中
- ▶ 他社との協業タイトル
- ▶ スマートフォンゲームの企画・運営をエイチームが担当

セグメント別トピックス

エンターテインメント

ヴァルキリーコネクト

- ▶ リリースから2周年！6/8より周年記念イベントを開催
- ▶ 5/14に全世界累計1,400万DLを突破、記念キャンペーンを実施



ユニゾンリーグ（グローバル版）

- ▶ 5/31より人気TVアニメ『七つの大罪 戒めの復活』とのコラボイベントを開催



ダービーインパクト

- ▶ 5/18より5周年記念キャンペーンを開催 ダンディ坂野さん出演TVCMを放映



セグメント別トピックス

ライフ スタイル サポート

自動車関連

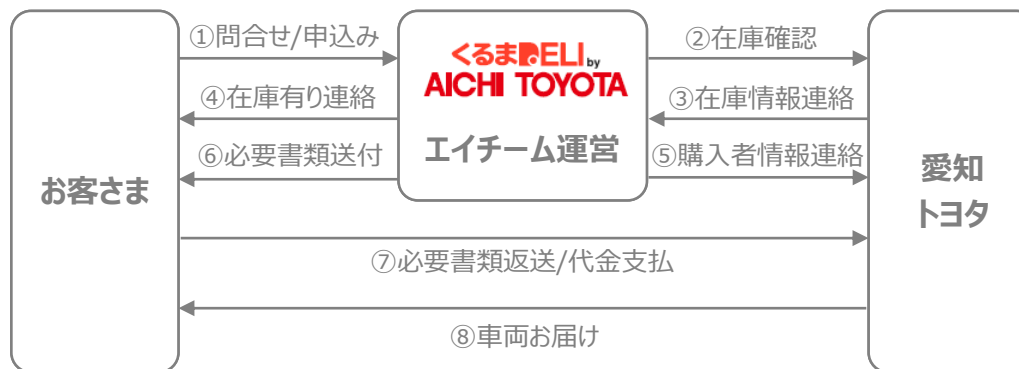
- ▶ 『TOYOTA NEXT』共同事業本格始動！
スマホで注文、自宅へ納車する中古自動車のインターネット販売の
トライアルを開始！現在注文受付中



- 【サービス名】 くるまDELI by AICHI TOYOTA
- 【トライアル開始日】 2018年4月24日（火）
- 【利用対象者】 愛知県在住、もしくは愛知県内に勤務の方
- 【URL】 <https://remobii.jp>



サービス概要



くるまDELIの3つの特徴

- クルマ選びから納車まで、くるまDELIで完結
- 愛知トヨタの良質な中古車のみ取扱
- 10日間返品・交換無料

くるまDELIご利用ステップ

- STEP 01** 乗りたいクルマを選ぶ
- STEP 02** 支払方法を選ぶ（一括・分割など）
- STEP 03** webでお申込み

4. FY2018 業績・配当予想

5. 中長期的な展望

FY2018 連結業績予想及び進捗率

通期業績見通しについては、従来予想を据え置く

(単位：百万円)

	FY2017 実績		FY2018 (2017.08-2018.07) 予想				
	中間実績	通期実績	中間実績	Q3累計実績	通期予想	構成比	Q3進捗率 (対通期)
売上高	15,283	34,603	18,069	28,338	40,000	100.0%	70.8%
エンターテインメント事業	8,976	19,259	8,635	12,511	19,500	48.8%	64.2%
ライフスタイルサポート事業	5,605	13,342	8,267	13,848	18,000	45.0%	76.9%
EC事業	702	2,001	1,166	1,978	2,500	6.3%	79.1%
営業利益	1,022	4,077	2,056	3,809	4,700	11.8%	81.0%
経常利益	1,071	4,118	2,076	3,852	4,700	11.8%	82.0%
当期純利益	676	2,579	1,433	2,650	3,100	7.8%	85.5%

※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」三つになりました。

FY2018 通期業績着地に関する留意点

全社

通期業績見通しは、期初予想を据え置く

- Q3時点では、ライフの上振れ分でエンタメの未達分を全てカバーできないものの、エンタメ新規タイトルの収益寄与次第で概ね期初計画通りの着地となる見通し

エンター テイン メント

売上は期初計画をやや下回る進捗；利益は新規タイトルの投資規模次第

- 既存ゲームアプリは全体的に減収傾向にあり、期初計画やや未達で推移
- 全体の着地見通しは、Q4にリリースの新規タイトル「三国BASSA!!」次第。期初計画から遅れてのスタートとなったものの、6-7月の収益寄与に期待

ライフ スタイル サポート

売上・利益ともに期初計画を上回る進捗

- サブセグメント事業総じて好調に推移
- Q4は金融メディア事業が繁忙期を迎え、全体としては例年通りのトレンドとなる見通し

EC

売上は概ね期初計画通り、Q4は投資抑制を予定

- 概ね計画通りの進捗
- 取扱商品規模が拡大しているため、フルフィルメント強化に注力し、Q4はプロモーション等を抑制する予定

FY2018 配当予想（再掲）

今後も業績を勘案しつつ、通期配当性向20%前後の株主還元を継続予定

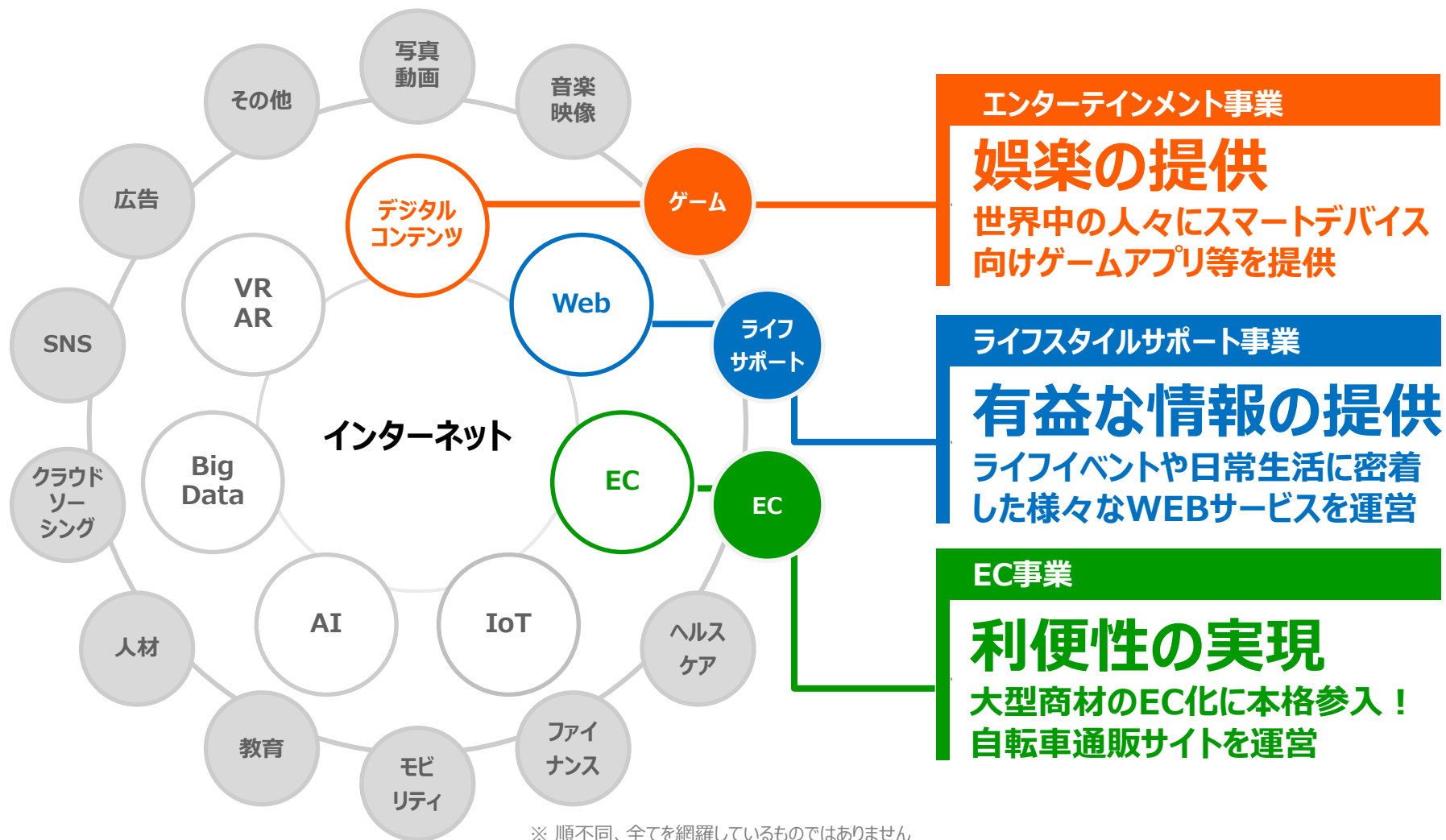
	FY2015 実績		FY2016 実績		FY2017 実績		FY2018予想
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	期末
基準日	01/31	07/31	01/31	07/31	01/31	07/31	07/31
配当実施日	04/03	10/13	04/04	10/07	04/04	10/06	10月（予定）
1株当たり 配当金	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	22円 00銭	32円 50銭
配当総額	238百万円		239百万円		517百万円		-
(通期) 配当性向	17.7%		18.2%		19.8%		20%（予定）

※配当実施方法につきましては、これまでに中間配当及び期末配当、年2回に分けて配当を実施してまいりましたが、当社が展開するビジネスの特性上、利益が下期偏重型となっており、通期業績をもって配当方針に沿った配当金額を決定すべく、FY2018より、年1回の期末配当のみとさせていただきます。

5. 中長期的な展望

エイチームの目指す姿

今後もインターネットを使った様々なビジネス領域に挑戦し続けます！



エンターテインメント事業

娯楽の提供

世界中の人々にスマートデバイス向けゲームアプリ等を提供

ライフスタイルサポート事業

有益な情報の提供

ライフイベントや日常生活に密着した様々なWEBサービスを運営

EC事業

利便性の実現

大型商材のEC化に本格参入！
自転車通販サイトを運営

※ 順不同、全てを網羅しているものではありません

事業の展望（数字を約束するものではありません）

全社

既存の三つの事業軸を基本としながらも、枠にとらわれず
様々な事業にチャレンジし、新たな収益源を創出します

エンター テイン メント

- | 日本で企画・開発・運営、世界中の人々に娯楽を提供
 - 北米、アジア圏、欧州市場を狙う
- | 全世界に向けて月商10億円規模のアプリを複数創出
 - 海外売上比率50%強を目指す

ライフ スタイル サポート

- | 既存のメイン4サービスそれぞれ年商50億円規模に
 - 4サービスの合計で年商200億円～300億円規模をイメージ
- | 有益な情報を提供し、生活をより豊かに、より便利にするサービスを順次開拓

EC

- | 自転車通販No.1サイトを目指す
 - 2020年までに国内自転車販売台数の3%を目指す
- | まだEC化が進んでいない商材へ挑戦

M&A及びベンチャー投資の方針

ミッション

『エイチームの目指す姿』につなげる
中長期的成長の実現ならびに企業価値向上の加速

M & A

- 既存事業の競争力強化につながると想定される企業や事業
 - エンターテインメント：（例）ユーザーを獲得・確保するための国内外のメディア等
 - ライフスタイルサポート：（例）シェア拡大やシナジーが見込まれる事業、関連メディア等
 - EC：（例）自転車に限らず、国内外における他の商材EC等
- 自社で容易に参入できない、或いは参入に時間のかかる事業を持つ企業

ベンチャー投資

- エイチームが参入するには不確実性が高いものの、将来的にみて魅力度が高い事業ドメインや技術を持つ未上場ベンチャー企業への出資
- エイチームの既存ノウハウを活かすことにより、大きな成長が見込まれる事業を展開する未上場ベンチャー企業への出資及び業務提携

APPENDIX A

会社概要

会社概要 (2018年4月30日現在)

商号	株式会社エイチーム
証券コード	東証1部 3662
設立	2000年2月29日
本社所在地	名古屋ビルヂング32F
代表取締役社長	林 高生
業種	情報・通信
セクター	ゲーム・インターネット・EC
決算期	7月末
連結子会社数	6社 (国内5社、海外1社)
連結人員数	841名 (役員、アルバイトを除く)
単元株式数	100株



名古屋ビルヂング



本社受付



梅田阪急ビル



品川イーストタワー

代表取締役社長の略歴



1971.12.18

岐阜県土岐市に生まれる

1982.12

コンピュータープログラミング 開始

1987.03

多治見市立多治見中学校 卒業

1987.04 ~

学習塾経営・さまざまなアルバイト

1997.06

個人事業として「エイチーム」創業

2000.02.29

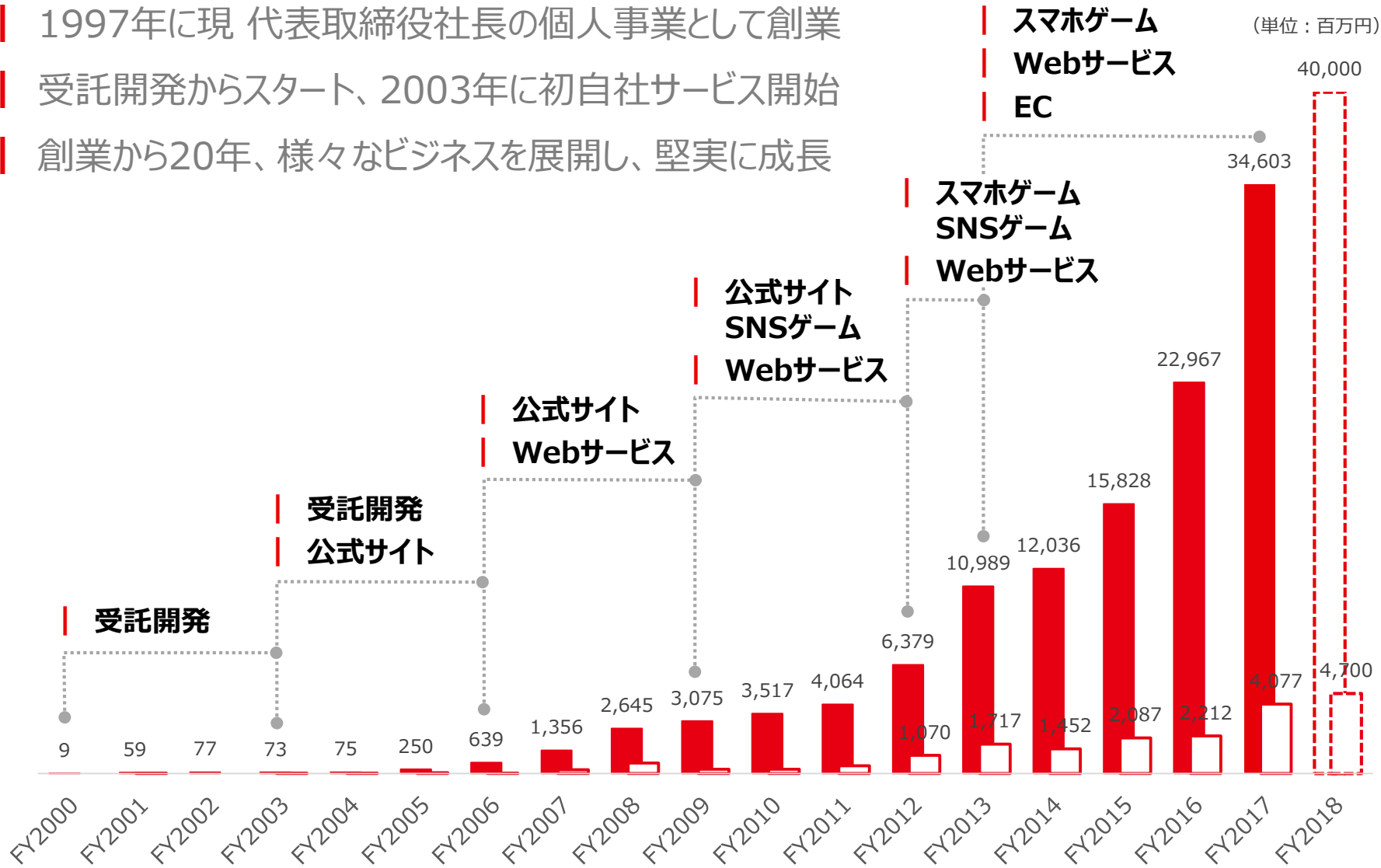
有限会社エイチーム 設立

2004.11.01

株式会社エイチームに組織変更

沿革

1997年に現 代表取締役社長の個人事業として創業
 受託開発からスタート、2003年に初自社サービス開始
 創業から20年、様々なビジネスを展開し、堅実に成長



エイチームのビジネス

インターネットやスマートデバイスを通じて利用者の皆様に様々なサービスを提供



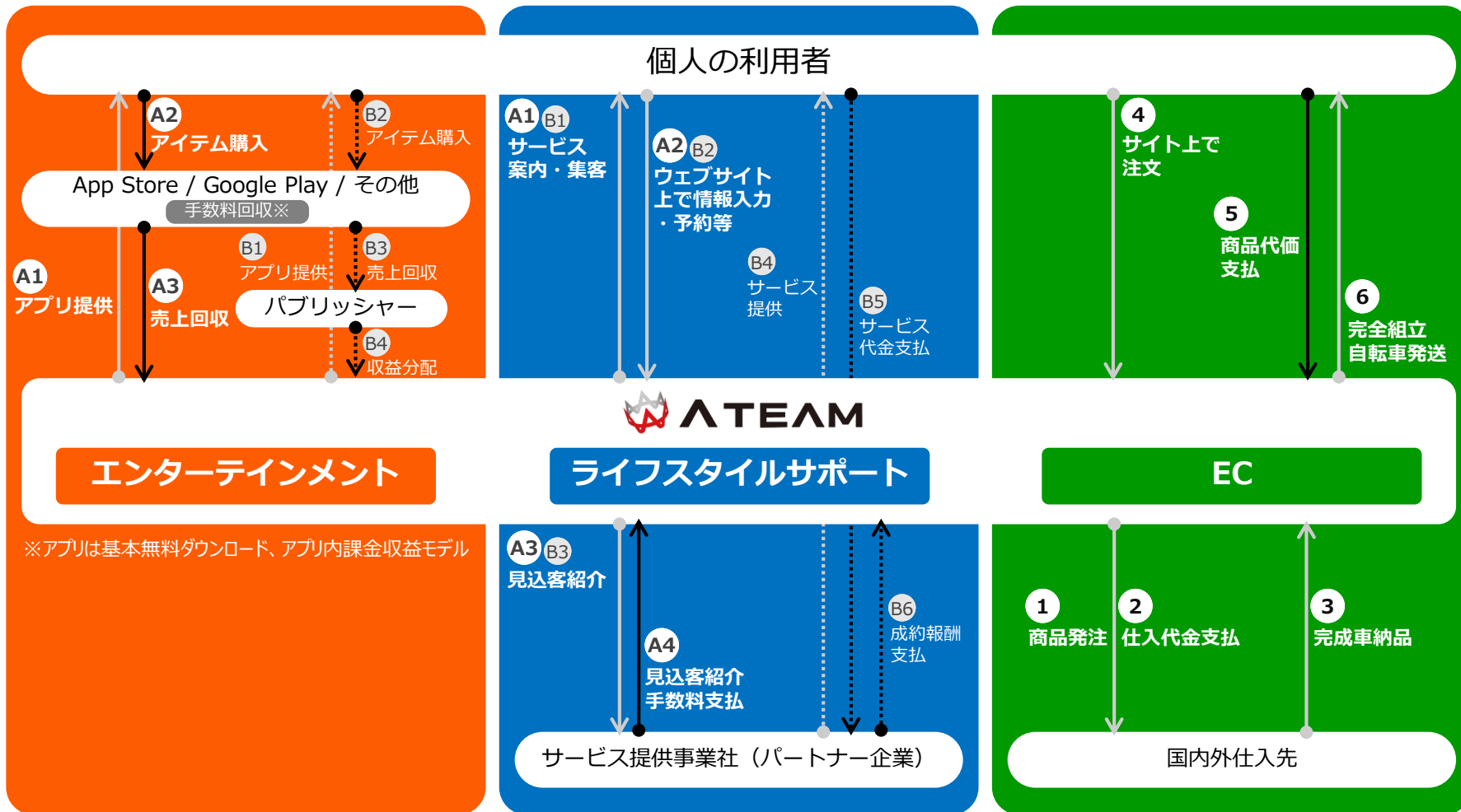
ビジネスモデル

Ⓐ … メイン収益のビジネスモデル (実線矢印)

Ⓑ … サブ収益のビジネスモデル (点線矢印)

⇄ … 商流

⇄ … 金流



※アプリは基本無料ダウンロード、アプリ内課金収益モデル

手数料 … App Store及びGoogle Play等、アプリ配信専用プラットフォーム運営者への支払手数料。アプリ内課金収益から手数料差引後入金。売上はグロス計上

エンターテインメント事業 主要ゲーム&ツールアプリ

Game Apps

ミッドコア RPG (ロールプレイングゲーム)



NEW

三国BASSA!!



ヴァルキリーコネクト



ユニゾンリーグ



レギオンウォー



ダークサマナー



三国大戦スマッシュ!

アクション



ダービーインパクト



ポンゴコンボ



麻雀 雷神 - Rising -



エターナルゾーン



ミリオンヴァーサス

シミュレーション

パズル

麻雀

公式サイト

Tool Apps

メモリ解放



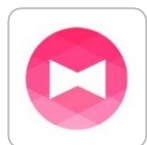
Game Boost Master

SNS



ジャム

着せ替え



[+]HOME

ZeroApp シリーズ (無料で使える便利ツール)



快眠サイクル
時計



楽々
カロリー管理



アイトレ3D



3分
フィットネス



さくさく
英単語

ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別主要サービス

引越し 関連事業



引越し比較・予約サイト

- 一度の入力で最大10社の引越し業者から見積を取得
- 提携引越し業者数は全国250社以上
- 業界シェアトップ、引越し周辺サービスも多数展開

自動車 関連事業



車査定・車買取サイト

- 一度の入力で最大10社の買取り業者から見積を取得
- 厳正な基準を満たした一流業者と提携
- 業界シェアトップ

ブライダル 関連事業



結婚式場情報サイト

- 全国500以上の結婚式場から会場をご紹介
- プロのアドバイザーが常駐する実店舗を全国12店舗展開
- 「ハナユメ定額ウエディング」、「ハナユメPhoto」等も展開

金融 メディア 事業



キャッシング・カードローン
総合検索サイト

- 厳選した大手銀行、消費者金融のサービスを徹底比較
- 「ナビナビキャッシング」に加え、「ナビナビクレジットカード」「ナビナビ住宅ローン」「ナビナビFX」を展開

その他 事業



- 女性向け生理日予想および体調管理アプリ
- プログラマ向けの技術情報共有サービス

Incrementsの完全子会社化（2017年12月）



Increments⁺

M&A 実施背景

- 『エイチームの目指す姿』の実現のため
- 資本を活用した中長期的成長の実現ならびに企業価値の向上加速のため

- サービス認知度のさらなる向上のため
- マネタイズの拡大に向け経営力強化ならびに組織基盤の拡大のため、他企業との提携を模索

選定理由

- 企業文化の融合の容易性
- Qiitaブランドのビジネスポテンシャル
- エンジニアをターゲットに、企業・事業認知度の向上

- 技術及び技術者に対するマインド
- 事業開発ノウハウ及び多角事業での成功実績
- 経営理念への共感

今後の 期待

- 「自社で容易に参入できない、参入に時間のかかる領域」における新たな事業の成長による収益貢献
- エンジニアをターゲットとする認知度の向上による採用力の向上

- 経営力の強化
- Qiitaブランドを軸とする事業開発及び事業成長

※ FY2018 Q3より、Increments株式会社の子会社運用事業（Qiita、Qiita:Team）をサブセグメント「その他」に含めております

Incrementsの事業内容及びビジネスモデル



プログラミングに特化した
オープンな情報共有コミュニティ

キータ

2011年リリース、広告課金モデル



Markdown

かんたんに
わかりやすく書ける



編集リクエスト

みんなで情報を
洗練する



ストック

気になる投稿を
保存して見返す

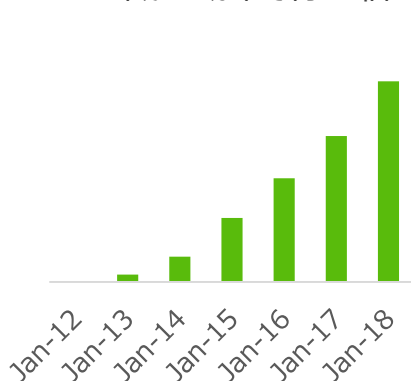


Contribution

自分の活動成果が
数字でわかる

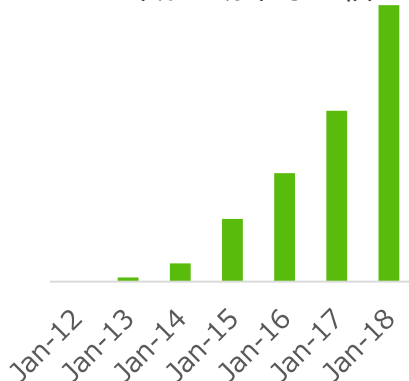
月間UUの推移

■ 13年から6か年で約30倍



月間PV数の推移

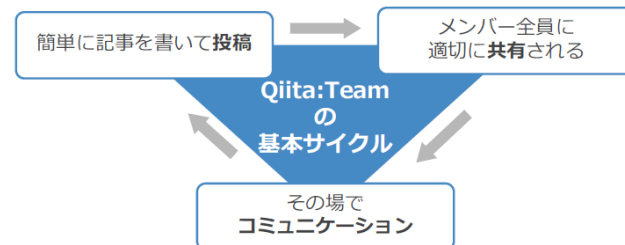
■ 13年から6か年で70倍



"書く"ことの敷居が低い、
社内向け情報共有サービス

キータチーム

2013年リリース、アカウント課金モデル



※ FY2018 Q3より、Increments株式会社の運用事業（Qिता、Qिता:Team）をサブセグメント「その他」に含めております

EC事業

自転車 EC

cyma -サイマ-
life & discovery

自転車通販サイト
「サイマ」

- 取扱い自転車200種類以上
- 専属整備士が整備、すぐに乗れる状態で自宅まで配送
- 日本最大級の自転車通販サイト



cyma -サイマ-
life & discovery



さらに → **全品国内整備**
国内自社整備工場からお届け

資格を持つ **整備士**
による組立・品質チェック

自転車全品 **送料無料**
ご自宅までお届け致します

店舗以上の安心を
1年間のパンク修理保証&ロードサービスつき

全国の自転車店で受けられる**パンク修理保証つき!**
【お家でパンクCARE (ケア)】

4つの修理を保証します

パンク修理 (チューブ交換/空気注入)	ブレーキ修理
チェーン修理	張りの調整

すべて自社整備工場からお届けしています

常時10000台以上の自社在庫を保有
だから価格もお買い得!

神戸工場

名古屋工場

東京工場

取締役



中内 之公

取締役

エンターテインメント事業本部長



熊澤 博之

取締役

ライフスタイルサポート事業本部長



牧野 隆広

取締役



加藤 淳也

社外取締役

グループ会社 社長

兼任

Ateam Vietnam Co., Ltd.
President

兼任

(株) エイチーム引越し侍
代表取締役社長

(株) エイチームコネク
代表取締役社長



間瀬 文雄

(株)エイチームライフスタイル
代表取締役社長



大崎 恵理子

(株) エイチームブライズ
代表取締役社長



海野 弘成

Increments (株)
代表取締役

APPENDIX B

主な経営指標

P/L (FY2016 Q3 - FY2018 Q3)

(単位：百万円)

	FY2016		FY2017				FY2018		
	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	6,178	6,757	7,136	8,147	9,906	9,412	8,904	9,164	10,269
Q/Q 増減率 (%)	+14.0	+9.4	+5.6	+14.2	+21.6	-5.0	-5.4	+2.9	+12.1
エンターテインメント事業	3,196	3,857	4,089	4,886	5,200	5,082	4,315	4,319	3,876
ライフスタイルサポート事業	2,550	2,513	2,652	2,952	3,990	3,746	3,954	4,313	5,580
EC事業	431	385	393	308	715	584	634	531	812
売上原価	987	1,038	1,105	1,221	1,671	1,671	1,476	1,649	1,959
原価率 (%)	16.0	15.4	15.5	15.0	17.0	17.8	16.6	18.0	19.1
販売管理費	4,392	4,969	5,737	6,196	6,486	6,434	6,464	6,421	6,558
販売管理費率 (%)	71.1	73.6	80.4	76.1	65.3	68.4	72.6	70.1	63.9
費用総額 (売上原価+販売管理費)	5,380	6,008	6,843	7,417	8,158	8,105	7,940	8,071	8,517
人件費・採用費	814	884	872	935	931	1,066	1,025	1,089	1,195
広告宣伝費	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623	3,410	3,600	3,866	3,730
広告宣伝費率 (%)	39.4	40.8	48.1	43.6	36.6	36.2	40.4	42.2	36.3
エンターテインメント事業	947	1,276	1,746	1,700	1,220	1,228	1,150	1,244	560
ライフスタイルサポート事業	1,368	1,338	1,547	1,728	2,230	2,040	2,302	2,472	2,973
EC事業	50	79	70	62	117	84	93	79	106
支払手数料等	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051	2,018	1,588	1,572	1,561
外注・サーバー費	275	235	254	297	315	331	532	518	620
オフィス賃料	177	177	178	218	238	243	249	251	288
その他費用	501	551	636	634	997	1,034	945	773	1,121
営業利益	798	748	293	729	1,748	1,306	963	1,093	1,752
Q/Q 増減率 (%)	+452.0	-6.3	-60.8	+148.5	+139.7	-25.3	-26.3	+13.4	+60.3
エンターテインメント事業	601	706	302	807	1,440	1,270	865	884	1,199
ライフスタイルサポート事業	554	425	369	326	715	516	550	686	1,077
EC事業	-23	-43	-34	-46	-65	-32	-44	-68	-77
営業利益率 (%)	12.9	11.1	4.1	9.0	17.6	13.9	10.8	11.9	17.1
経常利益	751	736	292	778	1,738	1,308	980	1,096	1,775
親会社株主に帰属する四半期純利益	479	504	138	537	1,162	741	678	754	1,217

P/L (FY2012 - FY2017)

(単位：百万円)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	Y/Y (%)
売上高	6,379	10,989	12,036	15,828	22,967	34,603	+50.7
Y/Y 増減率 (%)	57.0	72.3	9.5	31.5	45.1	50.7	-
エンターテインメント事業	3,278	6,632	6,169	7,914	12,559	19,259	+53.3
ライフスタイルサポート事業	3,100	4,357	5,834	7,557	9,193	13,342	+45.1
EC事業	0	0	32	356	1,214	2,001	+64.7
売上原価	927	1,392	2,132	2,389	3,615	5,669	+56.8
原価率 (%)	14.5	12.7	17.7	15.1	15.7	16.4	+0.7
販売管理費	4,381	7,880	8,451	11,351	17,139	24,855	+45.0
販売管理費率 (%)	68.7	71.7	70.2	71.7	74.6	71.8	-2.8
費用総額 (売上原価+販売管理費)	5,309	9,272	10,583	13,740	20,755	30,525	+47.1
人件費・採用費	1,540	2,083	2,638	2,798	3,250	3,807	+17.1
広告宣伝費	2,331	4,310	4,279	6,430	9,335	14,018	+50.2
広告宣伝費率 (%)	36.5	39.2	35.6	40.6	40.6	40.5	-0.1
エンターテインメント事業	399	1,571	789	1,651	3,748	5,895	+57.3
ライフスタイルサポート事業	1,914	2,673	3,422	4,578	5,109	7,547	+47.7
EC事業	0	0	8	61	221	335	+51.6
支払手数料等	624	1,600	1,737	2,586	4,592	7,318	+77.2
外注・サーバー費	250	528	826	785	1,035	1,198	+15.8
オフィス賃料	190	337	420	433	728	879	+20.7
その他 (費用総額-上記費用)	371	411	682	706	3,340	3,303	-1.1
営業利益	1,070	1,717	1,452	2,087	2,212	4,077	+84.3
Y/Y 増減率 (%)	138.5	60.4	-15.4	43.8	6.0	84.3	-
エンターテインメント事業	1,126	1,866	1,409	1,770	2,297	3,820	+66.3
ライフスタイルサポート事業	539	632	840	1,298	1,637	1,929	+17.8
EC事業	0	0	-34	-115	-172	-178	+3.6
営業利益率 (%)	16.8	15.6	12.1	13.2	9.6	11.8	+2.2
経常利益	1,047	1,718	1,470	2,164	2,094	4,118	+96.6
税引前当期純利益	1,008	1,688	1,364	2,091	1,858	3,854	+107.4
親会社株主に帰属する当期純利益	590	1,042	807	1,362	1,292	2,579	+99.6

B/S (FY2012 - FY2017)

(単位：百万円)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
資産の部						
流動資産	2,709	3,760	4,034	6,334	6,918	9,809
現預金	1,339	1,944	2,217	3,097	3,505	5,004
固定資産	443	881	1,470	1,322	2,668	3,331
有形固定資産	45	102	120	125	1,321	1,666
無形固定資産	120	410	355	460	622	507
投資その他の資産	277	367	994	736	724	1,157
資産合計	3,153	4,641	5,504	7,656	9,586	13,140
負債の部						
流動負債	1,153	1,136	1,305	3,648	4,127	5,202
固定負債	0	0	0	0	387	481
負債合計	1,153	1,136	1,305	3,648	4,514	5,683
有利子負債	100	0	0	1,700	1,166	632
純資産の部						
株主資本	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971	7,361
自己株式	0	0	0	-1,403	-1,222	-1,177
新株予約権	0	5	67	108	100	96
純資産合計	1,999	3,505	4,198	4,008	5,072	7,456
負債・純資産合計	3,153	4,641	5,504	7,656	9,586	13,140

その他経営指標 (FY2012- FY2017)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
発行済株式総数 (株)	18,393,000	19,195,000	19,349,200	19,405,600	19,450,000	19,469,800
自己株式数 (株)	0	0	0	580,020	302,562	302,562
期中平均株式数 (株)	16,882,352	18,933,262	19,255,641	19,310,191	18,846,317	18,904,872
EPS (1株当たり当期純利益、円)	34.99	55.04	41.96	70.54	68.58	136.45
EPS増減率 (%)	117.5	57.3	-23.8	45.6	-2.8	+99.0
ROA (総資産経常利益率、%)	42.3	44.1	29.0	32.9	24.3	36.2
1株当たり純資産 (円)	108.7	182.4	213.5	207.2	263.4	389.0
1株当たり配当金額 (円)	0.00	10.61	10.00	12.50	12.50	27.00
中間配当額 (円)	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
配当総額 (百万円)	0.00	203	192	238	239	517
配当性向 (%)	0	19.3	23.8	17.7	18.2	19.8
株主資本比率 (%)	63.4	75.4	75.0	50.9	51.9	56.0
自己資本比率 (%)	63.4	75.4	75.1	50.9	51.9	56.0
ROE (自己資本当期純利益率、%)	38.9	37.9	21.2	33.9	29.1	41.8
ROIC (=①÷②、%)	29.9	30.3	20.8	21.0	25.1	34.1
①税引き後営業利益 (百万円)	626	1,059	859	1,178	1,539	2,729
②運転資本 (=③+④、百万円)	2,099	3,500	4,130	5,600	6,137	7,993
③株主資本 (百万円)	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971	7,361
④有利子負債 (百万円)	100	0	0	1,700	1,166	632

※当社は2011年10月27日に1:100、2012/06/01に1:3、2015/05/01に1:2の割合をもって株式分割を行っております。このため、上記にはFY2011の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの金額を算定しております。従いまして、上記には過去に当社が発表した決算書類と異なる数値が一部含まれます。

「みんなで幸せになれる会社にする事」

「今から100年続く会社にする事」



本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。